



Mindjet MindManager :
企業情報、ビジネス プロセス、
チーム コラボレーションの橋渡し



目次

はじめに	1
企業の生産性におけるソフトウェアの役割	2
Mindjet MindManager : マップ上で会社を把握	3
Mindjet MindManager でアイデアや情報をすばやく効率的に入力	3
Mindjet MindManager を使ってアイデアや情報を従業員にとって最も有用な形で整理	5
Mindjet MindManager で社内の全員とアイデアや情報を共有	6
Mindjet MindManager による生産性の向上 : ある企業の例	7
経営幹部によるビジョンの形成	7
製品開発部門による機能の定義	8
人事部門による技能の識別と人材の配置	8
マーケティング部門による製品認知と発表計画の作成	9
IT 部門によるサポート インフラストラクチャの構築	9
営業部門による販売機会の特定と追跡	9
製造部門による需要に応じた部品の発注	10
カスタマ サポートによる問題の迅速な解決	10
財務部門による収益の追跡	10
まとめ	11

はじめに

今日の市場では、プロフェッショナルはより少ない労力でより大きな成果を上げる必要があり、ビジネスの持続可能性における生産性の重要度がこれまでにないほど高まっています。しかし、今日の情報化企業において、生産性とは何を指すのでしょうか。

生産性とは、実行可能な有用なナレッジを作り出すためにデータと人間の創造性を結集することです。また、そのナレッジを他の人々が適時に使えるように、有効に伝えることです。さらに、企業的意思決定をより適切に行うために、明確に定義されたコンセプトと、さまざまなビジネス プロセスにわたって全員が取り組める組織の目標にそのナレッジを転換することです。

企業においては、生産性を向上させ、競争を勝ち抜くために、チームでデータを共有して創造性を高めるための効果的なツールが不可欠です。

「将来、個々のナレッジ ワーカーの考えおよび情報リソースを引き出し、チームとして活用することが、最先端企業に大きな価値をもたらすでしょう。」

– Gartner Research¹

¹ Gartner, 「Hype Cycle for Knowledge Management, 2003」、12 ページ

企業の生産性におけるソフトウェアの役割

現在、あらゆる規模の企業で働く人々が、数多くの名ばかりの "生産性向上ツール" の類に縛られています。さまざまなインターフェイスを持つエンタープライズ アプリケーションによって、問題はさらに複雑化しています。従業員は膨大な時間とコストを、本来は時間を節約するためのものであるはずの多くアプリケーション (電子メール、ワープロ、スプレッドシート、プロジェクト管理、財務、在庫管理、人事など) の使用に費やしています。たとえば、あるアプリケーションから別のアプリケーションへの内容の切り貼りや、情報の検索、変更、保存のためのアプリケーションやツールの切り替えなどがあります。現に、業界調査会社である IDC の最新の調査によると、1,000 人のナレッジ ワーカーを抱える企業が情報を検索および取得できないことで浪費しているコストは週に 48,000 ドル、つまり年間 250 万ドルに上ります。² 専門家の見積りによると、情報の検索と取得は、ナレッジ ワーカーの 1 日の労働時間の 15 ~ 35% を占めている可能性があります。³

このような効率の悪さに加え、これらのアプリケーションでは人々が求めているような柔軟な方法で情報を入力できないという事実があります。作業者は各アプリケーションの機能に沿った柔軟性のない思考方法を余儀なくされます。その結果、時間と創造性は失われ、アイデアは分断され、実行可能な有用な情報は得られません。

アプリケーションによって強制される情報の取り扱い方法と、作業者にとっての情報の最も効果的な取り扱い方法とのギャップは、企業が現在直面している重大なビジネス問題です。それも、生産性と長期的な競争力に影響する問題です。

今日の競争の激しい市場で競争力を維持するために必要なのは、企業のあらゆる任務の従業員が単一のアプリケーションを使用してこのギャップを埋めて、次のことを実現することです。

- アイデアや情報をすばやく効率的に入力する。
- アイデアや情報を適切な方法で整理する。
- アイデアや情報を共有し、企業内外の重要なステークホルダーと共同作業する。

このようなツールがあれば、生産性の向上、意思決定の改善、およびビジネス プロセスの合理化が可能となり、より強力で強固な競争優位性を獲得することができます。

「経営者の最大の資産は、プロセス、コンセプト、アイデアなどを分析して伝える能力、そして他の人々のアイデアをすばやく理解する能力です。MindManager はまさにそれを支援するツールです。」

– Allied Telesyn 最高執行責任者、Howard Kamerer 氏

² International Data Corporation (IDC), 「Worldwide Knowledge Management Software Forecast, 2002-2006」、2001 年 12 月

³ International Data Corporation (IDC), 「The High Cost of Not Finding Information」、KMWorld Vol. 13, Issue 3 の記事、2004 年 3 月

Mindjet MindManager :

マップ上で会社を把握

現在の生産性向上ツールと情報の効果的な使用とのギャップを埋めるために、Mindjet MindManager では、直感的で強力なビジュアル マップで重要な情報を入力、整理、および共有できるようにします。ステークホルダは社内で使用されているさまざまなアプリケーションから苦労してデータを収集しなくても、Mindjet MindManager の強力で使いやすい単一のインターフェイスで情報を活用できます。

Mindjet MindManager によって複雑な情報のインタラクティブな視覚表現が可能になり、生産性の向上と時間の節約を実現できます。また、情報の所在にかかわらず、情報を共通の簡潔なビューに表示することにより、意思決定を十分な情報に基づいて適時に行えるようになります。さらに、組織の境界を越え、企業情報を実行可能なナレッジに転換することによって、ビジネス プロセスを合理化できます。

Mindjet MindManager は、直感的なビジュアルマップで情報を入力、整理、および共有できるようにします。

入力

- プロジェクトおよびすべてのステークホルダのための情報の“ダッシュボード”を提供
- 会議の内容や決定されたアクションを効果的に文書化
- チーム メンバの独創的な発想を促進

整理

- 個々のユーザーにとって有用な形での情報の整理
- 従業員による思考プロセスや最終目標の視覚化
- ビジュアル アイコンを使用してさまざまなアイデアや情報のつながりを識別

共有

- 視覚的でわかりやすい単一の形式で情報を提示、共有
- 社内のすべての部門を総合的な戦略目標に向けて連結
- 言語、文化、および物理的な境界の解消

次に、企業環境で Mindjet MindManager がどのように機能するかを説明します。

Mindjet MindManager でアイデアや情報をすばやく効率的に入力

Mindjet MindManager を使用することで、従業員はプロジェクトに関するすべての情報を単一のビジュアル マップに入力できます。マップは、中心トピックと、関連するテーマ、問題、仕事、および成果物への分岐から成ります。このようにして、独創的な発想の入力と促進、効率の改善が可能になると共に、情報の収集と管理に要する時間とコストを削減することができます。従業員は別々の孤立したドキュメント、リスト、または電子メールを情報の種類に応じて維持するのではなく、次に示すように、プロジェクト関連のあらゆる情報を統合された単一のマップにまとめることができます。

- テキスト ベースのデータ
- 実施項目、仕事、リソース、マイルストーン、警告、期限など
- アイデア、考え、コメント (チーム メンバの考えや計画の流れを変えるような意思決定の説明など)
- 関連する Web ページ コンテンツ (検索結果など)、および他のエンタープライズ アプリケーション (Microsoft Sharepoint や Salesforce.com など) に格納されているデータへのライブ ハイパーリンク
- エンタープライズ アプリケーションやオフィスの生産性向上のためのアプリケーション (Microsoft Word、Project、Excel、Outlook、PowerPoint、Visio など) のドキュメントの添付
- RSS フィード

会議や戦略策定セッションにおいて、従業員は、優先度や何が最重要であるかを考えることなくアイデアをすばやく入力することで、関連するあらゆる情報を MindManager マップにリアルタイムで収集できます。ユーザーは会議中に情報を収集でき、自分のデスクに戻って複数の互換性がなく孤立した柔軟性のないプロジェクト管理ツールに情報を入力する必要がないため、従業員は貴重な時間を節約し、無駄な労力を省き、データの精度を高めることができます。

Allied Telesyn 社は Mindjet MindManager を使用して戦略的計画セッションの効率性を 25% 向上させました。つまり、通常は 4 時間かかっていたところを 3 時間に、8 時間を 6 時間に短縮することに成功したのです。同社は、過去 3 年間の合計を上回る収益性の向上の直接の要因として、Mindjet MindManager の使用を挙げています。

会議の後は、ビジュアル マップに、手書きで行うように情報を追加して、Mindjet MindManager を情報の“ダッシュボード”、つまり集約ポイントとして使用できます。このようにして、プロジェクトに携わるすべての従業員に向けてナレッジを実行可能な情報に転換します。

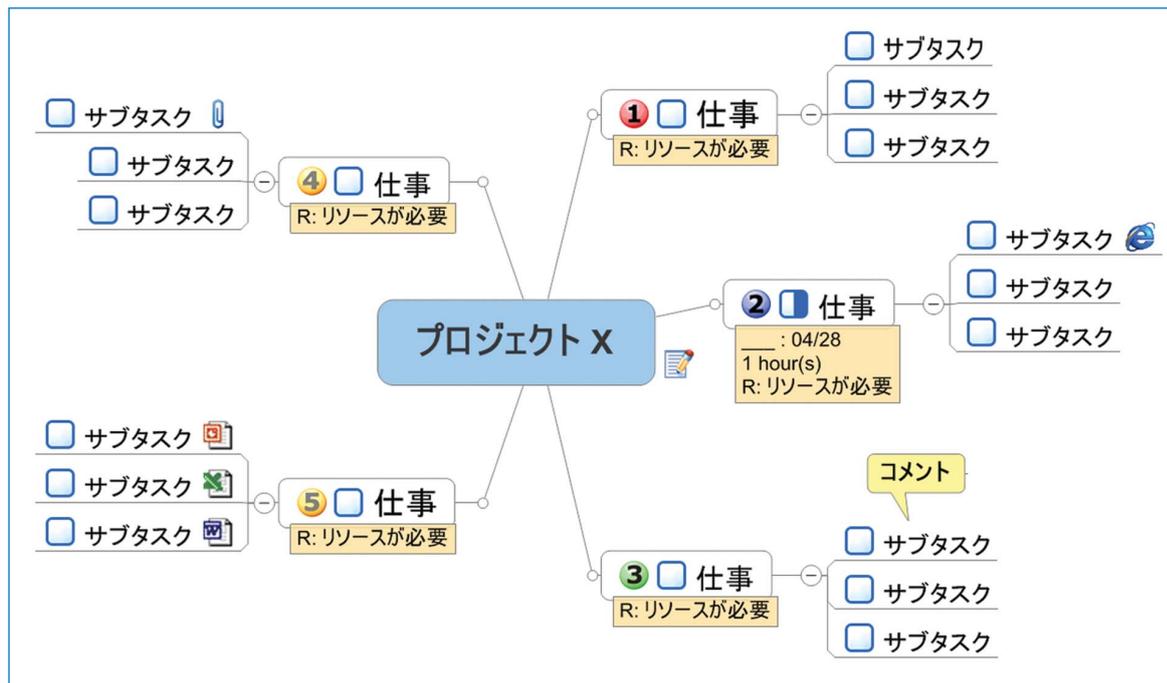


図 1: Mindjet MindManager により、プロジェクトやプロセスに必要なすべての情報を単一のビジュアル マップに入力し、独創的な発想と無駄の排除を促進します。

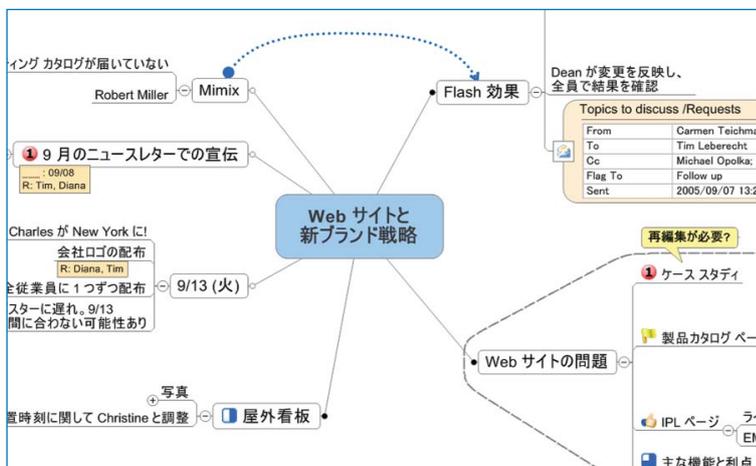
「Mindjet MindManager を使用することで、生産性を 10 倍に向上させ、社内のビジネス プロセスの理解を深めて合理化することができました。」

– Air Products and Chemicals, Inc. グローバル ツール エキスパート、
Mike Krebs 氏

Mindjet MindManager を使ってアイデアや情報を従業員にとって最も有用な形で整理

情報を入力したら、その情報を最も有用な形で整理することができます。静的で柔軟性のない生産性向上ツールのように、内容が画一的になることはありません。Mindjet MindManager により、従業員は全体像の把握や詳細の掘り下げ、進捗の追跡、結果の確認が可能です。Mindjet MindManager では、情報を放射線状に広がるマップに示し、個々の仕事、リソース、およびデータを視覚的に階層化することによって、トピックどうしをつなげたり、詳細と中心課題または戦略との関連を視覚化できるようにします。ユーザーは思考プロセスをはっきりと理解できるため、積極的に参加するようになり、アイデアや情報の質が高まります。コラボレーションの促進により、企業規模のチームはより迅速に十分な情報に基づいて意思決定を下し、最適な結果により早く達することができます。たとえば、Louis Vuitton の一部門である DFS Group は、Mindjet MindManager を使い始めてから、通常 16 か月かかっていたプロジェクトを 4 か月に短縮しました。これは 75% の時間短縮にあたります。⁴

Mindjet MindManager を使用すると、空間的なリレーションシップ、色、スタイル コード、アイコン、画像などのビジュアル アイコンを使用して、さまざまなアイデアや情報のつながりを識別できます。このようにして、社内のあらゆるユーザーにとって、次のことが可能になります。



- 完了した仕事と進行中の仕事を一目で把握
- 明確な目標に基づいた、優先度の管理と進捗の追跡
- 仕事の担当者を容易に特定
- 仕事とトピックのリレーションシップや依存関係の把握
- マップやトピックのフィルタ処理により、関連する情報のみを表示

図 2: Mindjet MindManager によって、最も有用な形にマップを整理できます。

「Mindjet MindManager を使い始める前は、メモを整理するのに 1 週間、わかりやすい形でビジネス チャンスを分析するのにさらに 1 週間、すべてを理解して意思決定を下すのもう 1 週間かかっていた。Mindjet MindManager によって、3 週間かかっていたことを 4 日間ですることができるようになりました。」

- IBC 社長、Ed Sullivan 氏

⁴ DFS Group では Mindjet MindManager を使用して、世界 125 か所の免税品店を管理する IT インフラストラクチャを再設計しました。

Mindjet MindManager で社内の全員とアイデアや情報を共有

企業内外の重要なステークホルダーとマップを共有することによって、全員がプロセスに参加し、同じマップを共有して、さまざまな部門にまたがるビジネス プロセスを合理化できます。Mindjet MindManager の直感的なビジュアル インターフェイスによって、組織の壁に穴を開け、従業員、仕入業者、およびステークホルダーが重要な情報を共有して、共同作業と企業生産性を向上させることが可能になります。

大企業ではプロジェクトに携わる人々が数百人に上ることもあります。Mindjet MindManager を使用すれば、この全員にスプレッドシートや仕事リストを電子メールで送信する代わりに、単一の包括的なマップを共有するだけで済みます。Mindjet MindManager ユーザーは、マップを表示、更新、または改訂できます。他の従業員やビジネス パートナーは、ブラウザ対応の無料クライアントである Mindjet MindManager Viewer を使って、MindManager のマップを読み取り専用モードで簡単に表示、移動、印刷、送信、および検索できるので、Mindjet MindManager をインストールする必要はありません。

このように Mindjet MindManager では、いわゆる生産性向上ソフトウェアの 3 つの主要機能を単一のインターフェイスで実現します。Mindjet MindManager により、ユーザーは同じソフトウェア アプリケーションで情報を作成、整理、および共有できるため、思いどおりに作業できるだけでなく、マップに作成された情報をそのまま共有できます。つまり、追加の手順を行ったり“プレゼンテーション”や“発行”のためのアプリケーションに切り貼りしたりする必要はありません。共有するために他の形式やアプリケーションに変換したり作成し直したりする必要がなくなるので、大幅なコストの削減と生産性の向上が可能になります。

多国籍チームでは、物理的な境界のみならず、言語や文化の境界を克服するのに Mindjet MindManager が役立ちます。重要な情報をすべて視覚的に表現できるため、母国語が何であろうと、視覚的表現、アイコン、仕事を使用して、すべてのユーザーがビジネス プロセスに参加し、情報を共有し、十分な情報に基づいてすばやく意思決定を行うことができます。これによって、言語や文化の違いによる誤解が減ります。

Consolidated Edison (ConEdison) では、MindManager マップを使って複数の部門にまたがるチームの合意形成を迅速化しています。この過程で、ConEdison の従業員は職場環境の効率化に対してより積極的に取り組み、Mindjet MindManager を使用して企業規模のプロセス向上プログラムを実施することで実際に年間 60 万ドル以上を削減しました。

また、経営幹部は Mindjet MindManager を使用して戦略的計画や目標を社内の全従業員に伝えることができます。視覚的で直感的な伝達方法により、確実な参画、実施項目の割り当て、企業目標の達成に向けた労力の結集が容易になります。その結果、ユーザーは達成しようとしている目標からそれることも、企業の全体的な方向性を見失うこともありません。

ここで、Mindjet MindManager を使用している典型的な企業について見てみましょう。

「IT には、コラボレーション技術、研究開発データ システム、運用とインフラストラクチャ、エンタープライズ プロジェクトとエンタープライズ サポートという 4 つの主要領域があります。これらの領域はお互いに重なりあっています。各領域で実施中の全プロジェクトのマップを作成することで、リソースや専門知識をプロジェクト間で共有する方法がはっきりと見えてきました。」

– Genencor 情報技術担当役員、Linda Manuel 氏

Mindjet MindManager による生産性の向上： ある企業の例

Mindjet MindManager のもたらすメリットをさらに詳しく理解するため、例として新製品を発売しようとしているあるソフトウェア企業を取り上げます。市場における最大の競合企業に勝つためには、この発売にあたって、製品開発、研究開発、製造から、営業、マーケティング、財務に至るあらゆる部門が協力する必要があります。

この複数の部門にまたがるビジネス プロセスを Mindjet MindManager で管理することで、部門間のコラボレーションを実現してより適切で迅速な意思決定を行い、製品発売に携わるすべての従業員の生産性を向上できます。最終的には、より早期に新製品を市場に投入し、競争上の優位性を獲得できます。

初期の製品コンセプトから店頭に並ぶまで、製品発売プロセスを見ながら、各段階で Mindjet MindManager がどのように価値を提供するかを考えてみます。

経営幹部によるビジョンの形成

この企業は最近、最大の競合企業が最先端の新しいソフトウェア製品の発売を計画していることを外部の情報源から知りました。この新製品の登場によって、市場および技術におけるトップの座を奪われるおそれがあります。次の経営幹部会議では、同様の製品を発売することで競争上の優位性を守るという "戦略の窓" の機会を見出しました。短期間で製品を発売するには、すべての部門を動員し、目的達成のために一丸となる必要があります。

経営幹部は、MindManager マップを使用することで PowerPoint やその他のプレゼンテーション形式に情報を変換する時間を節約しながら、戦略的な方向性と新製品のビジネス ケースをすべての従業員に伝達します。最初のマップには、各部門向けの新製品のビジョンの説明とクリティカル パスに基づくスケジュールを入力します。これは、各従業員が目標、必要な作業、および見通しを理解できるようにするためです。

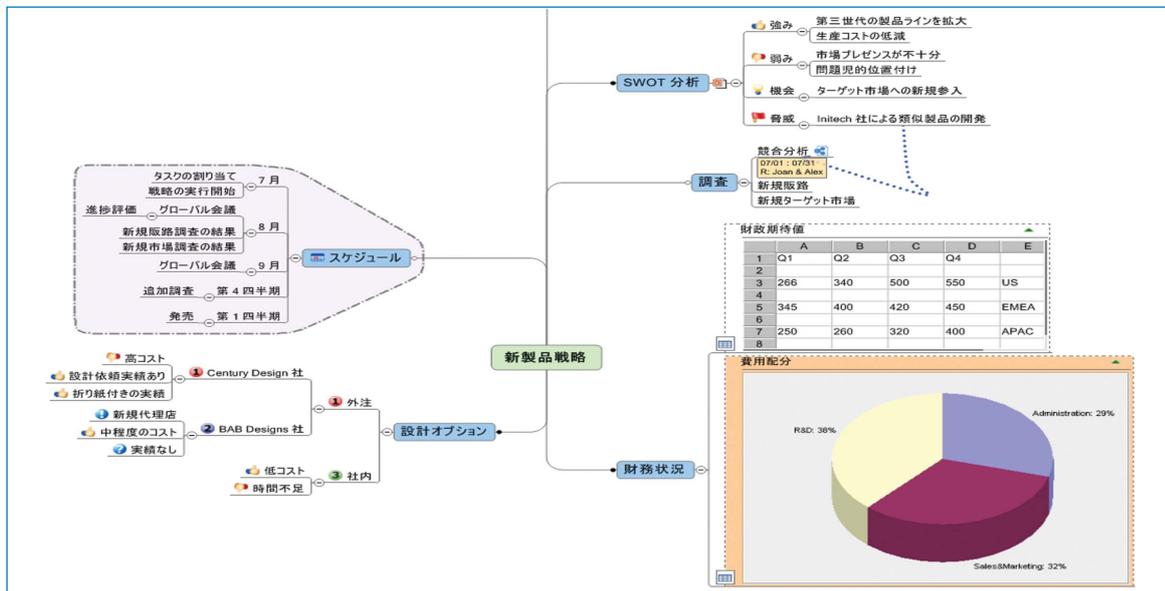
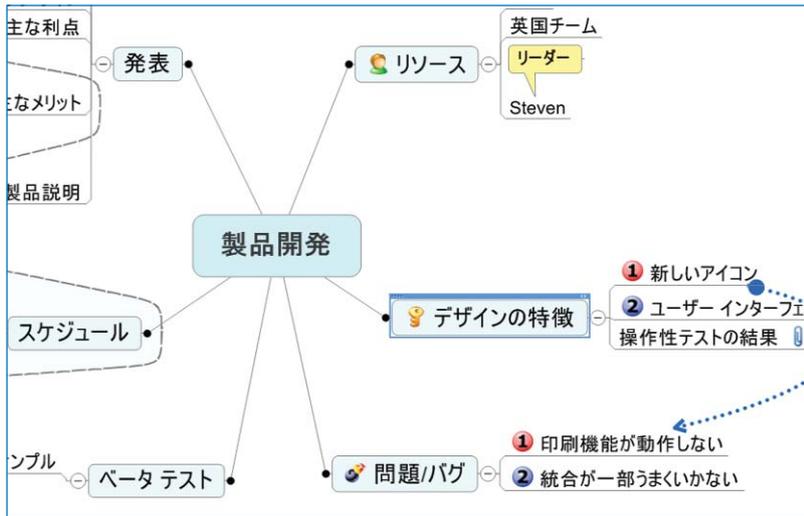


図 3： 経営幹部は Mindjet MindManager を使用して企業戦略をマップに書き出し、社内の全員が目標に沿って行動できるようにします。

製品開発部門による機能の定義

製品開発チームでは、製品の機能を定義する最初の会議から Mindjet MindManager を使用し、チーム内の独自のアイデアと外部からの意見（マーケティング チームが実施した調査で明らかになった顧客からの機能要望など）の両方を入力します。プロジェクト チームはマップに情報を集約した後、そのマップを営業部門に送信して機能要望の検証を依頼し、製品が顧客の現在の要求を満たすものであることを確認します。

簡単なレビューの後、営業チームは最近の顧客訪問で集めた提案事項を追加して、マップを研究開発部門に送り返します。製品開発チームは MindManager マップで機能セットを完成させ、色付けした実施項目とアイコンを使って、個々の機能の開発の優先度設定と技術者への割り当てを行います。マップにはマイルストーンも記載し、プロジェクトのレビューの時期や、開発を



次の段階に進める前に完了しなければならない作業を全員が理解できるようにします。最後に、MindManager マップを使って設計の変更を追跡および伝達し、全員が最新の開発状況を把握できるようにします。

図 4 :
製品開発部門は Mindjet MindManager で製品の機能を定義し、他の部門の参画を得ます。

人事部門による技能の識別と人材の配置

人事部門では、MindManager マップを見て、新製品の事業目標を達成するのに必要な適切な人数、技能、職務遂行能力が社内にあるかどうかを判断します。製品発売に携わるすべての部門は、マップを使用して人材配置や技能における不足を記入することができます。人事部門はその情報に基づいて雇用計画を立て、職務要件をまとめ、新規雇用者向けトレーニングや専門的能力の開発を計画できます。また、人事部門は MindManager マップを外部の人材派遣会社に提示して、適切な技能を持った人物を雇用することもできます。

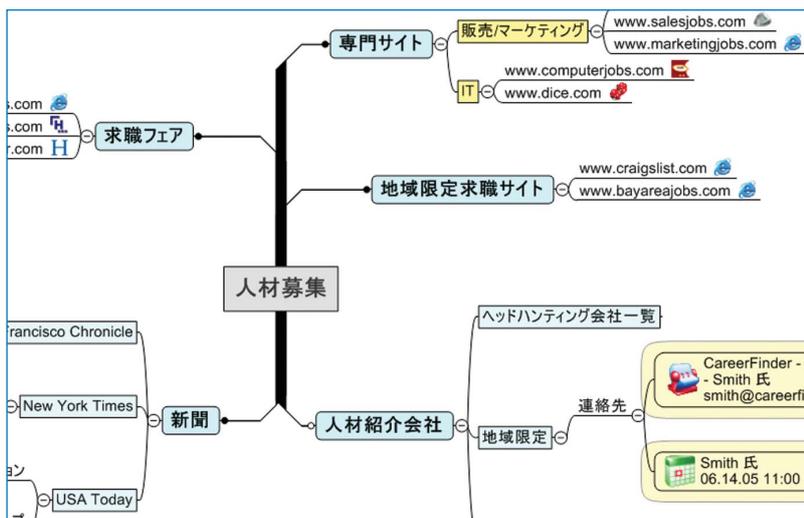
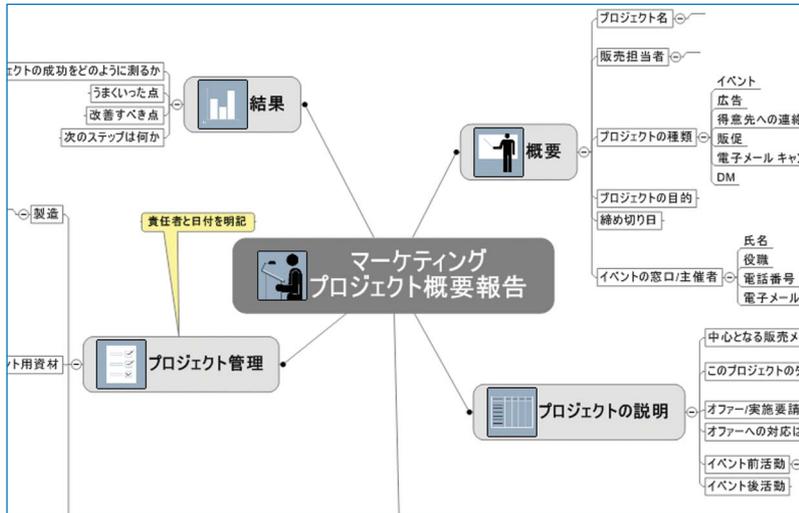


図 5 :
Mindjet MindManager により、人事部門は企業の事業目標を達成するための人材配置計画を立てることができます。

マーケティング部門による製品認知と発表計画の作成

同じ MindManager マップで、マーケティング部門はブレインストーミングを行い、新製品の包括的なマーケティング計画を立てます。この計画では、位置付けの説明、製品の主要メッセージ、発表計画、販売促進計画など、新製品発売に関するすべてのものを MindManager マップにリンクします。マーケティング部門はフォーカス グループへの調査の実施後、マップにフィードバックを追加して、製品開発チームが検討すべき製品機能の修正を理解できるようにします。



最終的な発表前に、マーケティング チームは製品のベータ プログラムを実施し、引き続き顧客からのフィードバックを追跡して、MindManager マップに入力します。発表後、マーケティング チームは、MindManager マップを使用して個々のマーケティング プログラムの有効性を追跡し、当初の目標に沿っているかどうかを確認できます。

図 6: マーケティング部門は Mindjet MindManager を使用して包括的なマーケティング計画を立て、企業のあらゆるステークホルダーに伝達できます。

IT 部門によるサポート インフラストラクチャの構築

IT 部門では、Mindjet MindManager を使用して技術インフラストラクチャが新製品販売に対応できるようにします。たとえば、発注管理アプリケーションが新製品の SKU を処理できるようにするなどです。また、製品発売にあたって IT サポートを必要とする社内顧客全員の概要マップを作成したり、必要に応じてセキュリティの更新を連絡したりすることもできます。

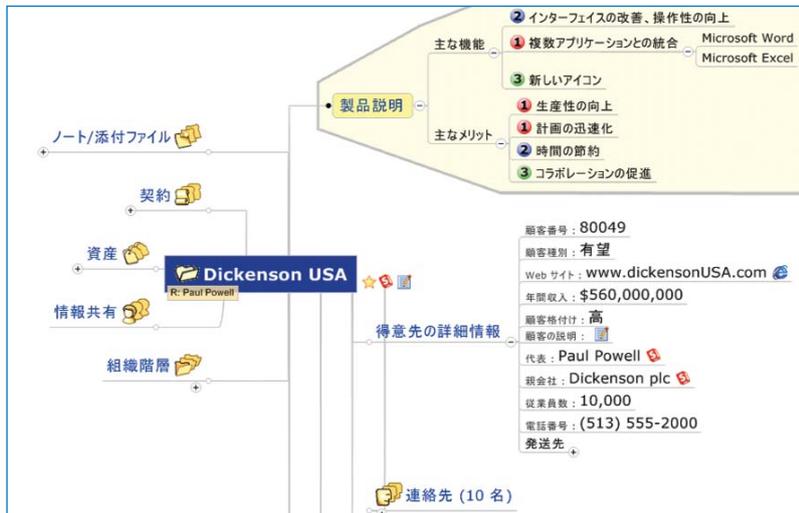


図 7: 営業部門は MindManager マップを使用して販売機会を特定および追跡します。

営業部門による販売機会の特定と追跡

営業部門では、Mindjet MindManager を使用して販売機会を簡単に特定および追跡し、企業内の他の部門に伝達することができます。営業チームは MindManager マップで製品の位置付けとマーケティング計画を確認できるため、販売方法は常に全体的な企業戦略に沿ったものになります。また、Mindjet と Salesforce.com のシームレスな統合により、目標を見失ったり間違えたりすることはありません。

製造部門による需要に応じた部品の発注

製造部門では、Mindjet MindManager を使用して製品発売プロセス全体を通して新製品を簡単に追跡し、発売開始に間に合うように必要なすべての部品や付属品（ラベル、箱など）を発注できます。MindManager マップには製品の最終的な仕様とマーケティング計画が添付されているため、適切な製品を適切な数量だけ製造するために必要な情報がすべて揃います。カスタマ リレーションシップ管理ソリューションである Salesforce.com へのライブ ハイパーリンクによって、発売開始の時点で店頭在庫があるように、新製品を購入した顧客を調べることができます。また顧客に直接発送することもできます。

カスタマ サポートによる問題の迅速な解決

カスタマ サポートは MindManager マップを使用して、発売開始前（ベータ テスト段階）および発売開始後の問題を追跡できます。製品の更新、パッチ、および新バージョンの提供状態をマップですぐに確認できるため、優れたカスタマ サービスを確実に提供することができます。顧客の信頼が高まります。

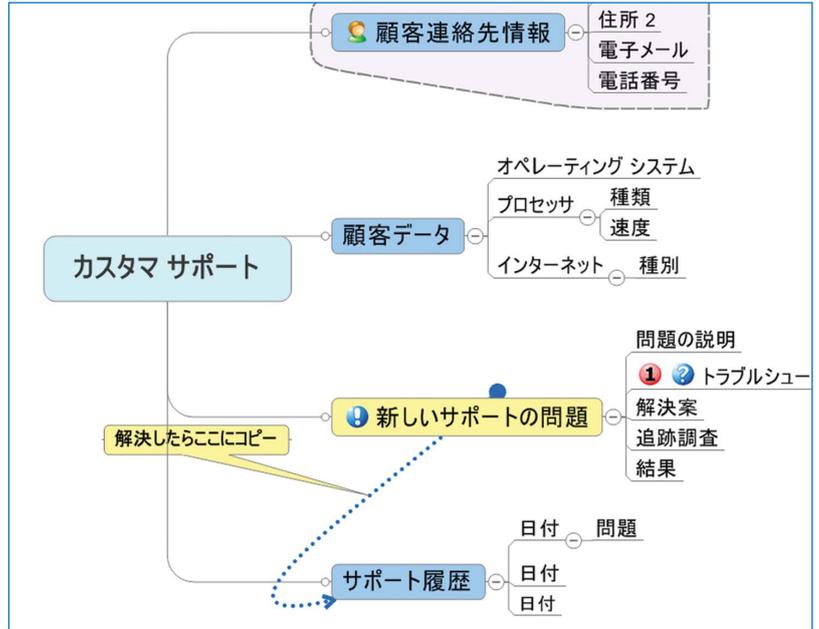


図 8: カスタマ サポートは Mindjet MindManager によって、問題をすばやく解決できます。

財務部門による収益の追跡

財務部門は新製品が営業目標を達成しているかどうか、またプロジェクトが予算に沿っているかどうかを、Mindjet MindManager を使用して一目で判断できます。また、MindManager マップによって、必要な規制報告書を転送、承認、および編集できるため、法令順守プロセスを促進および合理化できます。

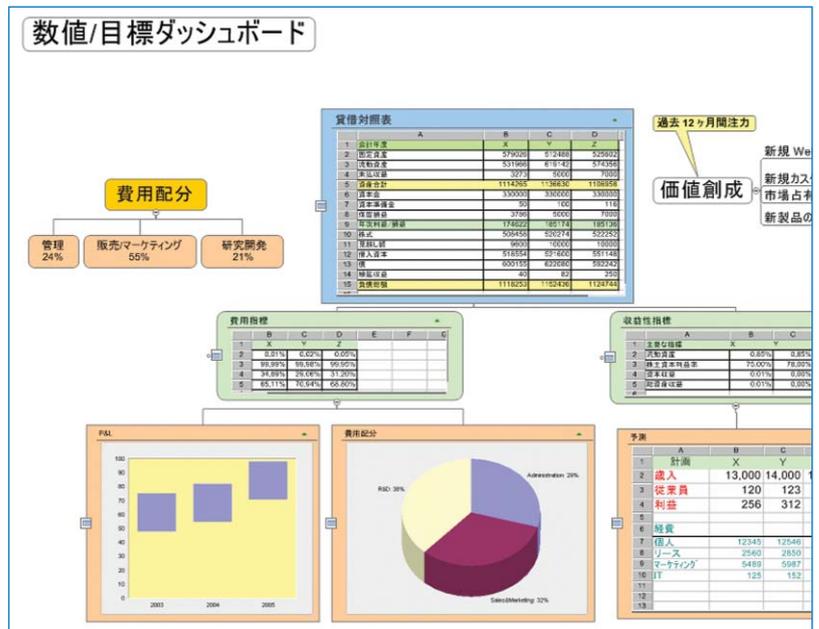


図 9: 経営幹部と財務部門は数値を視覚的に示すダッシュボードで業績を追跡できます。

まとめ

生産性は、今日の経済を活性化させる最大の要素です。より少ない労力でより大きな成果を上げるというプレッシャーが高まる中、企業は生産性の向上と競争力の維持のための新たな方法を慎重に探る必要があります。ほとんどの企業は生産性を向上させるためのソフトウェア ツールに目を向けますが、残念ながら、いわゆる“生産性向上” ツールの多くは実際には逆効果です。そのようなツールでは、さまざまなアプリケーションで情報を検索、変更、および保存しなければならず、時間の浪費、創造性の喪失、アイデアの分断を引き起こし、そして最終的には実行可能でない情報が生まれます。

そこで登場するのが、Mindjet MindManager です。Mindjet MindManager は、現在の生産性向上ツールと情報の効果的な使用との橋渡しをします。Mindjet MindManager は、企業の内外のアイデアや情報のすばやく簡単な入力、整理、および共有を支援することで、ナレッジを実行可能な情報に真の意味で転換します。その結果、競争が激化する市場において、生産性の向上、意思決定の改善、およびビジネス プロセスの合理化が可能となります。

Amazon、BASF、BMW、The Coca-Cola Company、Hewlett-Packard、IBM、Nokia、Procter & Gamble、Siemens、Charles Schwab Corporation などの大企業が、Mindjet MindManager が企業の生産性にもたらす変化の効果を認めています。

Mindjet MindManager で会社を変えてみませんか？

© Mindjet LLC 2006

Mindjet Corporation

本社

Koshland Building
1160 Battery Street
San Francisco, CA 94111
USA
電話 : +1 (415) 229-4200
FAX : +1 (415) 229-4201
電子メール : info@mindjet.jp
www.mindjet.jp

EMEA

Mindjet GmbH
Siemensstraße 30
63755 Alzenau
Germany
電話 : +49 (0)6023/9645-49
FAX : +49 (0) 6023/9645-19
電子メール : info@mindjet.de
www.mindjet.de

英国

Mindjet (UK) Ltd.
Peterbridge House - 3, The Lakes
Bedford Road, Northampton NN4 7HB
UK
電話 : +44 (0) 1604 638666
FAX : +44 (0) 1604 230910
電子メール : info@mindjet.co.uk
www.mindjet.co.uk